

第8回委員会資料

資 料 編

<資料目次>

[資料 I] 委員会の実施状況

■ 「京都市立工業高校将来構想委員会」設置要綱	-----	2
■ 京都市立工業高校の将来構想について（諮問）	-----	3
■ 「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」の 「まとめ」の概要（平成22年7月20日策定）	-----	4
■ 京都市立工業高校将来構想委員会 委員名簿	-----	6
■ 京都市立工業高校将来構想委員会 審議経過	-----	7

[資料 II] 委員会配布資料

資料 1 洛陽工業高校・伏見工業高校 設置学科及び生徒募集定員 (平成23年度入学者選抜)	-----	9
資料 2 洛陽工業高校・伏見工業高校 在籍生徒数（平成23年度）	-----	10
資料 3 洛陽工業高校・伏見工業高校 教員等の教職員の在籍状況（平成23年度）	-----	11
資料 4 洛陽工業高校・伏見工業高校における学科改編の状況（平成以降）	-----	12
資料 5 京都市立工業高校の中途退学者の状況	-----	14
資料 6 洛陽工業高校・伏見工業高校 カリキュラム略表【全日制】 (平成23年度入学生)	-----	15
資料 7 伏見工業高校 カリキュラム略表【定時制】(平成23年度入学生)	-----	16
資料 8 洛陽工業高校・伏見工業高校の コア科目（課題解決能力を育成する科目）の概要	-----	17
資料 9 洛陽工業高校・伏見工業高校のコア科目 (キャリア形成能力、公共心、勤労観・職業観を育成する科目)の概要	-----	18
資料 10 伏見工業高校 システム工学科 キャリア実践コース 概要	-----	19
資料 11 洛陽工業高校・伏見工業高校の産学連携等の主な取組状況（平成19年度～）	-----	20
資料 12 洛陽工業高校・伏見工業高校における入学者選抜の状況	-----	24
資料 13 京都市地区中学校3年生徒数及び洛陽・伏見工業高校 生徒募集定員の推移【全日制】	-----	25
資料 14 京都市地区中学校3年生徒数及び洛陽・伏見工業高校 生徒募集定員の推移【定時制】	-----	26
資料 15 京都市地区通学圏の中学校3年生数の推移（今後5年間）	-----	27
資料 16 洛陽工業高校・伏見工業高校 企業等からの求人状況の推移	-----	28
資料 17 洛陽工業高校・伏見工業高校 卒業後の進路状況【全日制】	-----	29
資料 18 洛陽工業高校・伏見工業高校 卒業後の進路状況【定時制】	-----	30
資料 19 洛陽工業高校・伏見工業高校 全日制生徒の卒業後進路の変化 (平成6年3月・平成23年3月卒業生比較)	-----	31
資料 20 専門教育を主とする学科について	-----	32

資料 21	工業に関する専門学科の教育課程の特徴	3 3
資料 22	京都府内公立高校募集定員及び工業に関する専門学科の募集定員 (平成24年度選抜)	3 4
資料 23	全国高等学校学科別生徒数の推移（全日制・定時制）	3 5
資料 24	京都府高等学校学科別生徒数の推移（全日制・定時制）	3 6
資料 25	京都市立高校における中途退学の主な理由（平成20年度～平成22年度）	3 7
資料 26	新規学卒者の在職期間別離職率の推移	3 8
資料 27	新規学卒者の離職理由	3 9
資料 28	新規学卒者（全日制高校工業科）の離職状況	4 0
資料 29	新規学卒者（全日制高校工業科）の離職理由	4 1
資料 30	新規学卒者（全日制高校工業科）の離職後の就職状況	4 2
資料 31	洛陽工業高校における資格・検定等の取得状況について (平成20年度～平成22年度)	4 3
資料 32	伏見工業高校における資格・検定等の取得状況について (平成20年度～平成22年度)	4 5
資料 33	洛陽工業高校・伏見工業高校における女子生徒の割合の推移 (平成7年度～平成23年度)	4 7
資料 34	洛陽工業高校・伏見工業高校における女子生徒の進路状況（全日制・定時制）	4 8
資料 35	2011年版ものづくり白書 (ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告) 要約版	4 9
資料 36	STEM教育の概要について	5 0
資料 37	「産学人材育成パートナーシップ グローバル人材育成委員会 報告書（平成22年4月 経済産業省）」より抜粋	5 1
資料 38	建物保有状況【市立工業高校・市立高校比較】（平成23年4月1日現在）	5 4
資料 39	京都市立洛陽工業高校における建物保有状況 【現況平面図】（平成23年4月1日現在）	5 5
資料 40	京都市立伏見工業高校における建物保有状況 【現況平面図】（平成23年4月1日現在）	5 6
資料 41	京都市立中学校卒業者の進学状況	5 7
資料 42	公立高等学校における学級数別学校数の推移（全国 全日制）	5 8
資料 43	都道府県立高等学校の適正規模等	5 9
資料 44	単位制の定時制高校の新設について（京都府教育委員会）	6 2

資料 I

(委員会の実施状況)

「京都市立工業高校将来構想委員会」設置要綱

(趣旨及び設置)

第1条 京都市立工業高校が果たす役割や将来のあるべき姿について研究・協議するため、京都市立工業高校将来構想委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は、京都市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）の諮問に基づき、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 京都市立工業高校の目指すべき方向性
- (2) 京都市立工業高校の規模と施設整備のあり方
- (3) その他教育長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員15名以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 産業界関係者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 市民公募委員
- (5) その他教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から委員会の終了までとする。

(座長)

第5条 委員会に座長を置く。

- 2 座長は委員の互選により選出する。
- 3 座長は委員会を総理する。
- 4 座長に事故があるときは、委員のうちから座長が指名する者がその職務を代理する。

(専門委員等)

第6条 委員会には、教育委員会事務局職員のほか、必要に応じ、工業教育に精通する者を専門委員として招き、意見等を求めることができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、京都市教育委員会事務局指導部学校指導課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要綱は平成23年6月27日から施行する。

平成23年8月25日

京都市立工業高校将来構想委員会様

京都市教育委員会
教育長 高桑三



京都市立工業高校の将来構想について（諮問）

本市では、豊かな人間性や社会性を育むとともに、生徒たちが自己のあり方や生き方を考え、一人一人の進路を実現できるよう、魅力ある高校づくりを進めています。

とりわけ、洛陽工業高校・伏見工業高校の2校につきましては、明治・大正期以来、確かな技術と高い使命感を兼ね備えた技術者の育成に努め、長年にわたり市民の皆様や産業界とともに「ものづくり都市・京都」さらには「技術立国・日本」を支えてきました。

特に、平成19年度からは、それぞれ「創造技術科」、「システム工学科」を新設し、幅広く「ものづくり」について学ぶとともに、専門的な技術を磨き、社会で活躍できる魅力的な人材育成に努めております。

また、新学科1期生が卒業を控えた平成21年11月には、産業界・学識経験者等からなる「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」を設置し、平成19年度以降の取組について、様々なご意見とご提案をいただきました。

これを受けて、両校においては、更なる改革を進めているところですが、両校がより魅力ある学校として発展していくための将来構想について、下記の観点を踏まえたご審議を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」における「まとめ」で示された方向性をより具体化するための方策
- 2 上記1の方策や生徒・保護者・産業界等のニーズを見据えた今後の学校規模と施設整備のあり方

「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」の「まとめ」の概要

(平成 22 年 7 月 20 日策定)

はじめに

- ・産業・経済の構造的变化や雇用の多様化等が進む中、改革 1 期生の卒業を機に、両校改革の成果と課題について校長・教員の意見も十分に踏まえて総括した。
- ・改革の成果によって、両校が 8 年連続で学校あっせん就職内定率 100% を達成したことを高く評価。
- ・今後、成果がある取組はさらに発展させ、また見直しが必要な取組は具体的な計画を立てて改善を図る。

1 今次の市立工業高校改革の総括

今次改革における重要な取組の主な柱である①「ものづくり」を通した豊かな人間教育の実践、②産学・地域とのパートナーシップに基づく人材育成、③学校組織の改革、④一括募集、⑤伏見工業「システム工学科・キャリア実践コース」、⑥伏見工業「システム工学科・工学探究コース」という 6 つの観点ごとに成果と課題を分析した。

<洛陽工業>

- ・「洛陽ブランド」という言葉に見られるように企業から卒業生に対して厚い信頼が寄せられている。
- ・コア科目の授業と事前・事後指導を含むインターンシップ、進路指導で実現した就職実績は高く評価。
- ・各専攻コースで生徒たちに確かな専門力を育もうとする教員の努力を評価。
- ・「安定した就職ができる学校」と評価される一方、中学生に「選ばれる立場」にあることの認識が不足し、それ以外に魅力が発信できていない点に教員の危機意識が希薄な面が見られる。
- ・コンテスト全国制覇の実績等もある一方、全体として「外部の教育力」の活用が進んでいない。
- ・大学進学を積極的に保障しようという教員の意識が低い。就職指導に比べ進学指導に不安。

<伏見工業>

- ・「外部の教育力の活用」により生徒・教員双方が良い刺激を受けている。
- ・改革を担う学校組織が有効に機能し、生徒を中心とした指導体制を構築。広報活動の充実により認知度が向上。
- ・多様なコース、多くの取組を展開するが、改革について全教職員で意識が共有できているか再点検が必要。
- ・地域や産学連携の取組が一過性に陥らないよう校内体制の確立が必要。
- ・大学接続を目指す「工学探究コース」は善戦したが、中学生への周知を含め更なる取組の充実を図る。
- ・「キャリア実践コース(昼間定時制)」の 1 期生の成果を周知。中学校の進路指導の改善を継続。
- ・平成 22 年度に改革 1 期生が卒業する夜間定時制について、単位制のあり方など引き続き検証を継続。

2 市立工業高校に求められる役割

- ・市立高校 9 校には普通科をはじめ多彩な専門学科を設置。我が国の将来を担う人材を育成するため、多様なニーズに応じた教育活動の充実を図り、進学や就職など生徒一人ひとりの進路保障に取り組んできた。
- ・工業高校は今後の我が国の「ものづくり」の発展の鍵を握っていると言っても過言ではない。
- ・「ものづくり」に貢献するという観点で市立工業高校の役割を考えた場合、生産現場の第一線で活躍する人材、企業の経営に携わる人材、研究開発に取り組む人材、技術等を次代に伝える人材など多彩な人材育成が不可欠。

(1) 産業界が工業高校に求める人材育成のあり方

- ・特定企業の即戦力を育成することは実質的に不可能。技術者としてベーシックな素養を育成することが必要。
- ・社会人としての基礎知識や就労意欲、人の話を聞く力、安全意識など「基礎・基本」が一番大切である。そういう意味では「前回まとめ」①～⑥の方向性を維持し、さらに発展させていきたい。

①「ものづくり」を通した豊かな人間教育の実践, ②「ものづくり」を通した勤労観・職業観の醸成, ③将来の夢に向かってチャレンジするための将来設計・計画実行能力, ④自己の生き方を主体的に選択する能力, ⑤環境変化に機敏かつ柔軟に対応できる課題解決能力, ⑥社会貢献への意識啓発, ⑦産学・地域とのパートナーシップに基づく人材育成

(2) 工業高校における大学進学希望者のニーズに応える教育の充実

- ・大学進学し, 大学や研究機関, 企業での研究開発, 経営分野等へ進む道も切り拓ける工業高校づくりも必要。
- ・さらに, 技術革新の進展に伴い, 企業での先端技術に触れる学習, 科学・産業技術分野の第一線で活躍している研究者等を招く授業, 社会で役に立つ資格取得等の推進をこれまで以上に進めるべき。
- ・これまで以上に生徒たちに新鮮な刺激を与える, 将来のキャリア意識を育てる機会を充実, 感動や素晴らしい夢を与える機会を生むためには地域・産学連携など「外部の教育力」をさらに活用していくべき。
- ・工業高校は「達成感」を得る機会が多いため, 「自分で考える楽しみ」を学ばせるなど, 目的意識を持ち意欲的に学ぶ人材の育成を進めるべき。
- ・工業高校は教育課程面で普通科目の履修が少なくなる面があるが, 推薦制度など積極的に活用していくべき。

(3) 小・中学生にとって魅力ある工業高校の在り方

- ・中学生は「モノづくりが好き」という理由だけでなく, 部活動, 「就職に有利」など様々な理由で工業高校を選択している現状もある。そうした生徒も「工業好き」に育てる魅力ある教育活動が必要。
- ・「工業高校ならではの魅力」, 「卒業時に獲得できる力」, 「求める生徒像」をしっかり発信しなければ, 「ものづくり」に関する高い意識を有する中学生の入学は期待できない。
- ・生徒たちを惹きつける「工業ならではの魅力ある教育」が展開できているか, 発信できているか等, 今一度, 教員一人ひとりが当事者意識を持って点検・行動をしてほしい。

3 市立工業高校の更なる発展に向けて

- ・生産現場の第一線で活躍する生徒の育成は引き続き重要であるが, 大学や研究機関, 企業での研究開発への道を志す人材, 豊かな人間性を備えた企業経営者の育成など, 市高総体で「ものづくり」の発展に貢献していかねばならない。
- ・①「ものづくり」への興味・関心
工業高校では「学ぶ目的」, すなわち専門知識・技術が実際どのように社会で活用されるのかを理解するためには, 産学・地域連携の取組や各専攻コースの力を融合して, みんなで目標を共有してロボット等一つのものを作り上げるなどの取組が大変有効である。
- ・②両工業高校の連携
工業2校として就職・進学とも柔軟に対応できることが理想であるが, 今次改革の成果について両校が互いに参考にすべき点は多く, 両校がそれらを尊重していくことで工業高校の更なる発展が可能であると考える。
- ・③教員の資質向上
「教育は人なり」と言われるように, 生徒たちをひきつける教員自身の魅力が不可欠。教員自身も企業や大学, 自治体, 地域との連携を通じて刺激を受けながら, 資質や力量の向上に励んでほしい。
- ・結び
今後の産業・経済界をはじめ日本社会の変化・発展を見据え, 多様で加速的な状況の推移に柔軟かつ迅速に対応することは, 工業教育を含め高校教育の果たすべき重要な役割。

京都市立工業高校将来構想委員会 委員名簿

◎：座 長

氏 名	役 職 等	備考
池垣 伊三郎	京都市立伏見工業高等学校同窓会 会計	
尾河 清二	洛陽京工会 副会頭	
奥 美里	京都市文化市民局 文化芸術都市推進室長	
高倉 章雄	京都工芸繊維大学名誉教授	
高橋 智隆	ロボットクリエーター (株) ロボ・ガレージ代表取締役社長	
竹川 貴博	市民公募委員	
中山 誠	市民公募委員	
名高 新悟	前 京都機械金属中小企業青年連絡会 代表幹事	
林 倫子	立命館大学理工学部 助教	平成 24 年 4 月～
廣瀬 忠愛	京都市立中学校長会 副会長	～平成 24 年 3 月
福本 早苗	武庫川女子大学 生活環境学部 教授	
◎松重 和美	京都大学名誉教授 龍谷大学特別任用教授	
水田 真紀	立命館大学理工学部 助教	～平成 24 年 3 月
向井仲 和美	京都経営者協会 専務理事	
村上 幸一	京都市立中学校長会 会計	平成 24 年 4 月～

(五十音順・敬省略)

※専門委員

氏 名	役 職 等	備考
荒瀬 克己	京都市教育委員会事務局 教育企画監	平成 24 年 4 月～
生田 義久	京都市教育委員会事務局 教育政策監	～平成 24 年 3 月
恩田 徹	京都市立洛陽工業高等学校 校長	
道越 隆夫	京都市立伏見工業高等学校 校長	

(五十音順・敬省略)

京都市立工業高校将来構想委員会

審議経過

	開催日	開催場所	内容
第1回	平成 23年 8月 25日	伏見工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諮問 ・市立工業高校の現状等に関する協議 ・伏見工業高校の施設見学
第2回	平成 23年 11月 10日	洛陽工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校において育てるべき力に関する協議 ・洛陽工業高校の施設見学
第3回 (視察)	平成 23年 12月 22日	神戸市立科学技術高校、神戸工科高校	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市立科学技術高校、神戸工科高校の視察
第4回	平成 24年 2月 23日	京都市総合教育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校において育てるべき力に関する協議 ・施設設備の方向性に関する協議
第5回	平成 24年 4月 24日	伏見工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の方向性に関する協議 ・適正な学校規模に関する協議
第6回	平成 24年 6月 14日	洛陽工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備のあり方に関する協議 ・適正な学校規模に関する協議
第7回	平成 24年 8月 1日	伏見工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・中間まとめに向けた議論の整理
第8回	平成 24年 9月 24日	洛陽工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・中間まとめ（案）について

資料 II

(委員会配布資料)

資料 1

洛陽工業高校・伏見工業高校 設置学科及び生徒募集定員（平成23年度入学者選抜）

	全日制	定時制(昼間)	定時制(夜間・単位制)	計
洛陽工業	創造技術科 180		電気科・機械科・コンピュータ科 ※平成22年度末に閉制	180名
伏見工業	システム工学科 170	システム工学科 (キャリア実践コース) 20	工業技術科 30	220名
計	350名	20名	30名	400名

両校とも、1年時は共通履修、2年時からコース選択。コースは、以下の通り。

洛陽工業高校 創造技術科 → 電気コース・電子コース・機械コース・京都ものづくりコース

伏見工業高校 システム工学科 → 住環境システムコース・都市情報システムコース・
生産技術システムコース・テクノシステムコース・工学探究コース

洛陽工業高校・伏見工業高校 在籍生徒数(平成23年度)

※ 平成23年4月時点 各校報告数

※ 入学者数と1年生徒数が異なるのは、原級留置生徒や入学後調査までに中退した生徒がいるため。

【洛陽工業】

全日制

学科	募集定員	入学者数	1年	2年	3年	計	うち女子
創造技術	180	180	190	174	151	515	44

コース	2年	3年	計	(うち女子)
電気	49	29	78	9
電子	56	50	106	6
機械	53	43	96	5
京都ものづくり	16	29	45	11
計	174	151	325	31

【伏見工業】

全日制

学科	募集定員	入学者数	1年	2年	3年	計	うち女子
システム工学	170	170	172	161	145	478	62

コース	2年	3年	計	(うち女子)
住環境システム	31	28	59	14
都市情報システム	32	17	49	6
生産技術システム	39	34	73	0
テクノシステム	39	34	73	10
工学探究	20	32	52	6
計	161	145	306	36

定時制(昼間)

学科	募集定員	入学者数	1年	2年	3年	計	(うち女子)
システム工学 (キャリア実践コース)	20	20	22	27	25	74	9

定時制(夜間)

学科	募集定員	入学者数	1年	2年	3年	4年	計	(うち女子)
工業技術	30	30	32	35	18	20	105	6

洛陽工業高校・伏見工業高校 教員等の教職員の在籍状況(平成23年度)

平成23年4月1日現在

学校名	洛陽工業	伏見工業			計
校長(①)	1	1			2
	全日制	全日制	定時制	計	
副校長		1	1	2	2
教頭	2	1		1	3
主幹教諭	指導教諭(保体) 1	(工業) 1		1	2
教諭等	54 (19)	57.5 (13)	30.5 (2)	88 (15)	142 (34)
うち工業科	33.5 (12)	36 (9)	16 (2)	52 (11)	85.5 (23)
うち普通教科	20.5 (7)	21.5 (4)	14.5	36 (4)	56.5 (11)
養護教諭	1	1	1 (1)	2 (1)	3 (1)
教員計(②)	58 (19)	61.5 (13)	32.5 (3)	94 (16)	152 (35)
実習助手	4	3	3	6	10
管理用務員	2 (嘱託) (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	5 (4)
計(③)	6 (2)	5 (1)	4 (1)	9 (2)	15 (4)
計(②+③)	64 (21)	66.5 (14)	36.5 (4)	103 (18)	167 (39)
事務長	1	1			2
事務職員	3 (1)	5 (1)			8 (2)
計(④)	4 (1)	6 (1)			10 (2)
教職員計(①+②+③+④)	69 (22)	110 (19)			179 (41)

① 上記表は再任用者数を含む。

② ()は臨時の任用者数で内数。臨時事務員(アルバイト)を除く。

③ 上記表のほか、非常勤講師、英語教育指導助手(ALT)等が在籍する。

④ 伏見工業高校(全日制)の教諭数には昼間定時制8名を含む。

⑤ 伏見工業高校(全日制)の副校長については教頭級。

資料 4

洛陽工業高校・伏見工業高校における学科改編の状況(平成以降)

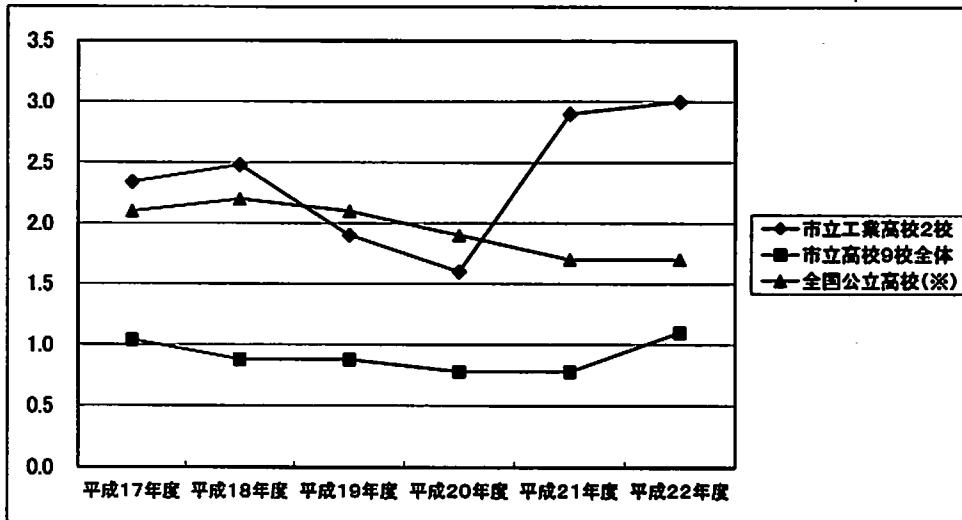
選抜年度	概 要	内 容
平成2年度	洛陽工業(全)「情報電子科」 伏見工業(全)「産業デザイン科」 等の設置	〔洛陽工業(全)〕 6 学科 9 学級(機械 2・電子 2・電気 2・化学工業 1・色染化学 1・染織技術 1)を 5 学科 7 学級(電子機械 2・情報電子 2・電気 1・化学工業 1・染織技術 1)に改編。 〔伏見工業(全)〕 7 学科 8 学級(金属工芸 1・精密機械 1・建築 2・土木 1・インテリア 1・工業デザイン 1・窯業 1)を 5 学科 7 学級(機械 2・建築 2・建設工学 1・産業デザイン 1・セラミック 1)に改編。
平成 10 年度	伏見工業(全)「総合技術科」 同校(定)「都市建設科」 洛陽工業(定)「コンピュータ科」 等の設置	〔伏見工業(全)〕 「セラミック科」を廃止、「機械科」を1学級減し、「総合技術科」を新設し、 5 学科 6 学級(機械 1・建築 2・建設工学 1・産業デザイン 1・総合技術 1)に改編。 〔伏見工業(定)〕 「土木科」「建築科」を統合して「都市建設科」を置き、 2 学科 4 学級(機械 2・都市建設 2)に改編。 〔洛陽工業(定)〕 「工業化学科」を廃止、「電気科」を1学級減する一方で、「コンピュータ科」を新設し、 3 学科 4 学級(機械 2・電気 1・コンピュータ 1)に改編。
平成 11 年度	洛陽(全)を3学科群7学科に 全面改編	5 学科 7 学級(電子機械 2・情報電子 2・電気 1・化学工業 1・染織技術 1)を 3 学科群 7 学科(京都伝統産業科 1・環境科学科 1・電気科 1・電子通信科 1・電子情報科 1・生産技術科 1・電子機械科 1)に改編。

洛陽工業高校・伏見工業高校における学科改編の状況

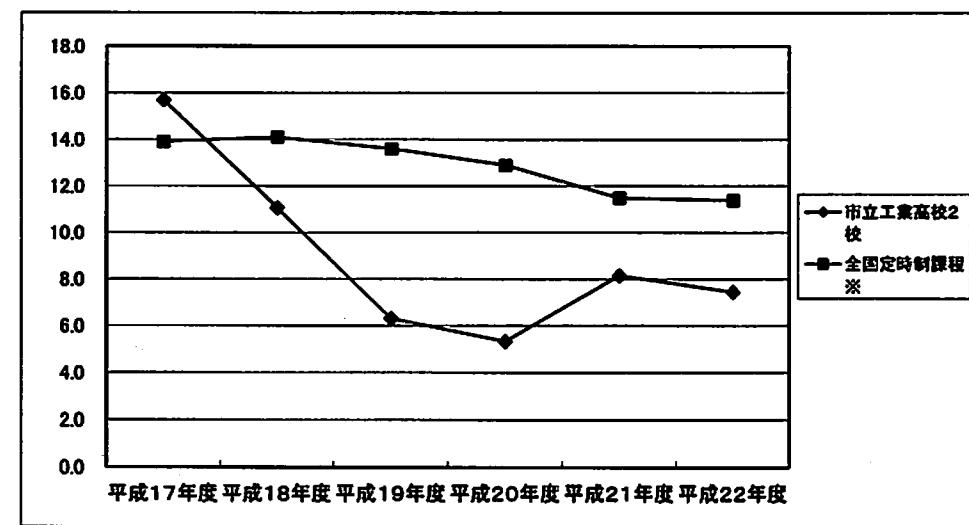
選抜年度	概 要	内 容
平成19年度	<p>洛陽工業(全)を1学科4コースに 伏見工業(全)を1学科5コースに 全面改編</p> <p>洛陽工業(定)の募集を停止</p> <p>伏見工業(定)を 昼間1学科1コースと 夜間単位制1学科に改編</p>	<p>【洛陽工業(全)】 3学科群7学科(京都伝統産業科1・環境科学科1・電気科1・電子通信科1・電子情報科1・生産技術科1・電子機械科1)を 1学科4コース(創造技術科=電気コース・電子コース・機械コース・京都ものづくりコース)に改編。 一括募集。</p> <p>【伏見工業(全)(昼間定)】 5学科6学級(機械1・建築2・建設工学1・産業デザイン1・総合技術1)を 1学科5コース(システム工学科=住環境システムコース・都市情報システムコース・生産技術システムコース・テクノシステムコース・工学探究コース)に改編・キャリア実践コースを新設。 一括募集。</p> <p>【洛陽工業(定)】 募集停止。</p> <p>【伏見工業(定)】 定時制夜間部(4年)1学科(工業技術科)を単位制に改編。</p>
平成22年度	洛陽工業(定)を閉制	【洛陽工業(定)】 閉制。

京都市立工業高校の中途退学者の状況

全日制



定時制 *伏見工業・キャリア実践コース含む



中退率(単位%)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
全日制	市立工業高校2校	2.3	2.5	1.9	1.6	2.9
	市立高校9校全体	1.0	0.9	0.9	0.8	1.1
	全国公立高校(※)	2.1	2.2	2.1	1.9	1.7

*文部科学省の調査による。

中退率(単位%)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
定時制	市立工業高校2校	15.7	11.1	6.3	5.3	8.2
	全国定時制課程(※)	13.9	14.1	13.6	12.9	11.5

*文部科学省の調査による。

資料6

洛陽工業高校・伏見工業高校 カリキュラム略表【全日制】(平成23年度入学生)

洛陽工業高校 全日制

1年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
普通教科																										専門教科		特別活動			
コア科目															工業																

2年生(電気コース・ハイパーステージ以外)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
普通教科																										専門教科		特別活動			
コア科目															工業																

3年生(電気コース・ハイパーステージ以外)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
普通教科																										選択科目 普通教科 または 専門教科		特別活動			
コア科目															工業																

2年生(電気コース・ハイパーステージ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
普通教科																										専門教科		特別活動					
コア科目															工業																		

3年生(電気コース・ハイパーステージ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
普通教科																										選択科目 進学系 (普通教科)		特別活動					
コア科目															工業																		

伏見工業高校 全日制

1年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																										専門教科		特別活動		
コア科目															工業															

2年生(工学探究コース以外)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																										専門教科		特別活動		
コア科目															工業															

3年生(工学探究コース以外)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																										選択科目 普通教科 または 専門教科		特別活動		
コア科目															工業															

2年生(工学探究コース)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																										専門教科		特別活動		
コア科目															工業															

3年生(工学探究コース)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

資料7

伏見工業高校 カリキュラム略表 【定時制】(平成23年度入学生)

伏見工業高校 キャリア実践コース（昼間定時制）

1年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																		専門教科	特別活動											
																		コア科目	工業											

2年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																		専門教科	特別活動											
																		コア科目	工業選択科目	インターンシップ										

3年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通教科																		専門教科	特別活動											
																		コア科目	工業選択科目	企業長期実習	選択科目 普通教科 または 専門教科									

伏見工業高校 単位制 夜間定時制

1年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
普通教科																		専門教科	特別活動
																		工業	

2年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
普通教科																		専門教科	特別活動
																		コア科目	工業選択科目

3年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
普通教科																		専門教科	特別活動
																		コア科目	工業選択科目

必履修科目の中で未履修・未修得となった科目がある場合、必要に応じて選択する。

4年生

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
普通教科																		専門教科	特別活動
																		コア科目	工業選択科目

必履修科目の中で未履修・未修得となった科目がある場合、必要に応じて選択する。

洛陽工業高校・伏見工業高校のコア科目（課題解決能力を育成する科目）の概要

＜洛陽工業高校＞全日制

【目 標】

ものづくりを通して、将来直面する課題を発見し解決する能力、コミュニケーション能力、自己他者理解能力を身につける。

1年

「創造基礎」（2単位）

問題解決能力・プレゼンテーションを身に付ける。さらに、リーダー養成講座を設置し、外部講師を招聘し、実践力を育成する。

2年

電気・電子・機械：

「創造技術I（課題研究）」（2単位）

京都ものづくり：

「ものづくり設計（課題研究）」（2単位）

専門コースに関する課題を発見・設定して解決方法を討議し、問題解決学習を繰り返す。

3年

電気・電子・機械：

「創造技術II（課題研究）」（2単位）

京都ものづくり：

「ものづくり探求（課題研究）」（4単位）

専門コースにおいて課題解決能力・コミュニケーション能力・自己他者理解能力を養う。

ただし、電気コース・ハイバーステージについては、2年次に設置せずに、3年次に「HYPE R（課題研究）」（4単位）として設置している。

＜伏見工業高校＞ 全日制

【目 標】

課題解決学習の基本的な過程を理解し、教科横断的な指導による実践的な学習活動から「ものづくり」や「まちづくり」に対する幅広い視野を身につけることができる。

1年

「創造研求Ⅰ」（2単位）

＜発見・基礎のステージ＞

課題発見から解決まで、一連のプロセスを体験する中で基礎的な手法と技術を身につけ、課題解決能力の育成を図る。

2年

「創造研求Ⅱ（課題研究）」（2単位）

＜充実のステージ＞

すでに学んだ専門知識や技術をもとに、試作・実習・調査研究にチャレンジ、その研究成果を発表することによりプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力の向上を図る。

3年

「創造研求Ⅲ（課題研究）」（2単位）

＜発展のステージ＞

これまで学んだ知識・技術・理論を総動員して「課題研究」に取り組み、その研究成果を発表する。企画力、創造力の向上を図る。

昼間定時制

【目 標】

課題解決学習の基本的な過程を理解し、幅広い分野からの題材で、実践的な学習活動によりくみ、「ものづくり」に対する幅広い視野を身につける。

1年

「創造研求Ⅰ」（2単位）

＜発見・基礎のステージ＞

限られた材料での作品の工夫製作や調査研究を通して、課題解決に向けた手法や技術の基本を身につける。

2年

「創造研求Ⅱ（課題研究）」（2単位）

＜充実のステージ＞

企業実習での体験を活かしながら、専門の技術の深化を図り、課題解決能力の向上や発表する力を養う。

3年

「創造研求Ⅲ（課題研究）」（2単位）

＜発展のステージ＞

企業長期実習で得られた技術・技能を最大限活用しながら、「課題研究」に取り組み、その成果を発表する。

夜間定時制

【目 標】

課題を発見し、解決の方法を考え、自らの考えを他者に伝えることを学習する。

2年

「創造研求Ⅰ」

（2単位）

作品の製作・発表を通して、工業に必要な知識・技術の習得し、問題解決能力の向上をめざす。

3年

「創造研求Ⅱ（課題研究）」

（2単位）

工業に必要な知識・技術の習得し、問題解決能力の向上を目指し、課題制作・発表の流れを身につける。

4年

「創造研求Ⅲ（課題研究）」

（2単位）

最終の課題製作に取り組み、その成果を発表する。

資料9

洛陽工業高校・伏見工業高校のコア科目（キャリア形成能力、公共心、勤労観・職業観を育成する科目）の概要

<洛陽工業高校> 全日制

【目標】

自己理解や自己発見をしながら、職業観・労働観を育むとともに、将来設計と専門コース選択ができるようにする。進路実現の取組と卒業後の自分を見つめるキャリアプランを設計する。

1年

「キャリア基礎」(1単位)

「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「将来設計能力」、「意思決定能力」の育成を目指す。自己発見や自己理解をしながら、将来設計を立て、学校生活をプランニングする。

2年

「キャリア形成Ⅰ」(1単位)

人間としてのあり方・生き方を学ぶとともに、インターンシップを通して、職業観や勤労観を育成し、希望の進路実現に向けた取組を実践する。

3年

「キャリア形成Ⅱ」(1単位)

「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「将来設計能力」、「意思決定能力」の育成を図るとともに、外部講師による講義や講話などを通して社会における役割や生き方を考える。

<伏見工業高校> 全日制

【目標】

働くことの意義、職業人としての意識・生き方を身につけさせ、自分の将来設計ができるキャリア形成能力や公共心を育てる。

1年

「キャリア研求Ⅰ」(1単位)

＜発見・理解のステージ＞

マナー講座や講演、職業適性検査などで、自己を理解し、社会を知り、学校生活の過ごし方を考える。これにより職業観・勤労観を確立させ、将来設計の立案と社会への移行をはかる。

2年

「キャリア研求Ⅱ」(1単位)

＜行動のステージ＞

クレベリン検査・大学訪問・職業適性検査や外部講師講演などをとおして、自他を理解し、社会を知り、将来の目標や卒業後の進路を考える。インターンシップを通して、勤労観・職業観、社会の状況を確認させ、進路実現の方法を確立させる。

3年

「キャリア研求Ⅲ」(1単位)

＜実現のステージ＞

進路ガイダンス・職業探索・就職講座などを通じて将来の目標をたて、卒業後の進路を決め、実現に向けて取り組む。自己の特性と適性を確認し、自己実現（就職・進学）に向けた的確な行動と考え方を確立させる。

昼間定時制

【目標】

働くことの意義、職業人としての意識・生き方を身につけさせ、企業実習などの体験を活かしながら、自分の将来設計ができるキャリア形成能力や公共心を育てる。

1年

「キャリア研求Ⅰ」(2単位)

＜発見・理解のステージ＞

経営者の講演や企業見学を通して、社会を知ると同時に、マナー講座やレディネステストなどを通じて自己理解を図る。

2年

「キャリア研求Ⅱ」(2単位)

＜行動のステージ＞

職業適性検査を通して自他を理解すると同時に、企インターンシップ等の実際の体験を通して卒業後の進路を考える。

3年

「キャリア研求Ⅲ」(2単位)

＜実現のステージ＞

企業長期実習での体験を活かしながら、将来の目標を立て、実現に向けた取組をする中で、卒業後の進路の具体化を図る。

夜間定時制

【目標】

主体的に進路選択や将来設計を行う力を育てるとともに、勤労観・職業観を育成する。

2年

「キャリア研求Ⅰ」(1単位)

職業について知る、調べる、将来設計、資格試験の取組を行う。

3年

「キャリア研求Ⅱ」(1単位)

職業について知る、調べる、将来設計、資格試験の取組を行う。

4年

「キャリア研求Ⅲ（現代社会）」(1単位)

広く社会を知ること、将来設計、資格試験の取組を行う。

伏見工業高校 システム工学科 キャリア実践コース 概要

基本システム例

「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」の「まとめ」で示された方向性を踏まえて、きめ細かな事前指導を行うため、平成23年度選抜より、募集定員を30名から20名へ定員減を行った。さらに、1年生で企業見学等を実施し、目的意識を向上と基礎学力の充実を図り、2年生で専門分野を学ぶとともに、インターンシップを通じてキャリア形成を図り、3年生に集大成として「長期企業実習」を実施するようカリキュラムを変更した。

変更前

- 1年生：インターンシップ（5日間）×3回
- 2年生：企業長期実習（40日間）×1回
- 3年生：企業長期実習（40日間）×1回



変更後

- 1年生：企業の事業所や現場見学の実施 ×3回
- 2年生：インターンシップ（5日間）×2回
- 3年生：企業長期実習（40日間）×1回

提携企業数 120社 (平成23年7月末現在)

1期生（平成19年度入学生）

日付	内容（実施学年）	生徒・企業数
19.9.6(木)～9.12(水)の5日間	第1回インターンシップ(1年生時)	26名・18社
19.11.1(木)～11.7(水)の5日間	第2回インターンシップ(1年生時)	24名・17社
20.2.4(月)～2.8(金)の5日間	第3回インターンシップ(1年生時)	23名・18社
20.10.15(木)～12.9(火)の約40日間	第1回企業長期実習(2年生時)	14名・14社
21.4.16(木)～6.10(水)の約40日間	第2回企業長期実習(3年生時)	14名・14社

2期生（平成20年度入学生）

日付	内容（実施学年）	生徒・企業数
20.9.4(木)～9.10(水)の5日間	第1回インターンシップ(1年生時)	35名・24社
20.11.6(木)～11.12(水)の5日間	第2回インターンシップ(1年生時)	35名・26社
21.2.2(月)～2.6(金)の5日間	第3回インターンシップ(1年生時)	35名・23社
21.10.15(木)～12.9(水)の約40日間	第1回企業長期実習(2年生時)	25名・21社
22.4.15(木)～6.4(金)の約40日間	第2回企業長期実習(3年生時)	19名・16社

3期生（平成21年度入学生）

日付	内容（実施学年）	生徒・企業数
21.9.3(木)～9.9(水)の5日間	第1回インターンシップ(1年生時)	28名・20社
21.11.9(木)～11.13(水)の5日間	第2回インターンシップ(1年生時)	27名・22社
21.1.25(月)～1.29(金)の5日間	第3回インターンシップ(1年生時)	25名・18社
22.10.14(木)～12.3(金)の約40日間	第1回企業長期実習(2年生時)	26名・22社
23.4.18(月)～6.7(火)の約40日間	第2回企業長期実習(3年生)	25名・22社

4期生（平成22年度入学生）

日付	内容（実施学年）	生徒・企業数
22.9.2(木)～9.8(水)の5日間	第1回インターンシップ(1年生時)	30名・27社
22.11.8(月)～11.12(金)の5日間	第2回インターンシップ(1年生時)	29名・23社
23.1.24(月)～1.28(金)の5日間	第3回インターンシップ(1年生時)	28名・25社
23.10.20(木)～12.13(火)の約40日間	第1回企業長期実習(2年生)	